「ひ」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「ひ」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 18

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「ひ」で始まる語彙辞典（メジャー）

ひ - あい【悲哀】
悲しくあわれなこと。「人生の―を感じる」「サラリーマンの―が漂う」

ひ - あし【火足】
火事などで、火の燃え広がっていく速さ。火の回り。「強風が―を速める」

ひいき - め【贔屓目】
ひいきをした見方。好意的な見方。「どう―に見ても相手のほうが強そうだ」

ひ - が【彼我】
かれと、われ。相手と自分。あちらとこちら。「―の力量の差」

悲喜(ひき)交交(こもごも)
悲しいこととうれしいことを、代わる代わる味わうこと。「―いたる」

ひき - も - きらず【引きも切らず】
［副］
絶え間なく。ひっきりなしに。「客が―詰めかける」

ひ - きょう【悲境】
悲しい境遇。不幸な身の上。「―を嘆く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひ - ぎゃく【被虐】
残虐な取り扱いを受けること。いじめられること。「―趣味」⇔加虐。

ひ - けん【卑見】
自分の意見をへりくだっていう語。「―を述べさせていただきます」

ひ - こう【肥厚】
［名］（スル）
肥えたりはれたりして厚くなること。「患部が―する」

ひ - ご【庇護】
［名］（スル）
かばって守ること。「両親の―のもとに育つ」

ひざ - づめ【膝詰（め）】
膝と膝とを突き合わせること。相手に強く詰め寄ること。「―で交渉する」

ひざづめ - だんぱん【膝詰（め）談判】
相手に膝を詰め寄せて談判すること。直接会って強く掛け合うこと。

ひざ - びょうし【膝拍子】
膝をたたいて拍子をとること。また、その拍子。「―を打つ」

膝(ひざ)を抱(だ・いだ)・く
自分の膝をかかえる。ひとりでさびしくいるようすにいう。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひ - しょう【卑小】
［名・形動］
取るに足りないこと。ちっぽけで価値の低いこと。また、そのさま。「―な存在」

ひ - せん【卑賤】
［名・形動］
地位・身分が低いこと。人としての品位が低いこと。また、そのさま。「―より身を起こす」「―な言動」

ひ - そう【悲壮】
［名・形動］
悲しい中にも雄々しくりっぱなところがあること。また、そのさま。「―な決意」

ひ - そう【悲愴】
［名・形動］
悲しく痛ましいこと。また、そのさま。「―な面持ち」「―感」

ひ - ぞく【卑俗／鄙俗】
［名・形動］
① いやしく下品なこと。品がなく俗っぽいこと。また、そのさま。「―な言葉」
②（鄙俗）田舎びていること。また、そのさま。「―な歌」

額(ひたい)を合わ・せる
額と額とがくっつくほど近くに寄る。「―・せて何事か企む」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひた - はし・る【直走る】
［動ラ五（四）］《「ひたばしる」とも》
休むことなく、まっしぐらに走る。転じて、ひたすらがんばる。「目的に向かって―・る」

ひっ - けい【必携】
① 必ず持っていなければならないこと。また、そのもの。「雨具を―のこと」
② 便利な案内書。手引書。ハンドブック。「職員―」

筆紙(ひっし)に尽くし難(がた)・い
あまりにはなはだしくて、とても文章に書き表せない。「―・い努力」

筆舌(ひつぜつ)に尽くし難(がた)・い
あまりにはなはだしくて、文章や言葉ではとても表現できない。「この無念さは―・い」

ひとあし - ちがい【一足違い】
ほんのわずかな時間のずれ。「―で終電に間に合わなかった」

ひと - あしらい【人あしらい】
人のもてなし方。人との応対。「―が上手な人」

ひと - いきれ【人熱れ】
人が多く集まって、体熱やにおいでむんむんすること。「車内は―でむっとしている」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひと‐うけ【人受け】
他人にもたれる好悪の印象や評判。他人の気受け。「―のいい人」

ひと‐かかえ【一抱え】
両腕で抱えるほどの量、または太さや大きさ。「―の薪(まき)」「―もある幹」

一方(ひとかた)なら◦ず
普通の程度でない。ひととおりでない。「―◦ず喜ぶ」「―◦ぬお世話になった」

ひと‐くずれ【人崩れ】
多人数が退散しようとして、混雑すること。「―が起きる」

一口(ひとくち)乗・る
多人数でするもうけ口や仕事の仲間にはいる。「私もその話に―・ろう」

人心地(ひとごこち)が付(つ)・く
緊張から解放されて、ほっとした気持ちになる。「風呂につかって、やっと―・いた」

ひと‐しあん【一思案】
［名］(スル)
ちょっとの間考えをめぐらすこと。一考。「―して答えを出す」

ひと‐ずれ【人擦れ】
［名］(スル)
人の中でもまれ、世慣れすぎていること。「―していない初々しい娘」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひと‐づかれ【人疲れ】
［名］（スル）
人との応接や人込みなどのために疲れること。「来客が多くて―する」

ひと‐なかせ【人泣かせ】
［名・形動］
人に迷惑をかけて、困らせること。また、その行為や、そのさま。「―な雨」「―な注文ばかりつける」

ひと‐なだれ【人雪崩】
群衆がなだれ落ちること。また、押し合いながらなだれのように一方に動くこと。「エスカレーターで―が起きる」

ひと‐なみ【人波】
大勢の人が波のように押し合って動くこと。「―にのまれる」「―を縫って進む」

ひとまち‐がお【人待ち顔】
［名・形動］
人を待っているような顔つき。また、そのようなさま。「―に通りを眺める」

瞳(ひとみ)を凝ら・す
まばたきもせずに、じっと見つめる。凝視する。「―・して捜す」

瞳(ひとみ)を据・える
じっと見つめて視線を動かさない。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

人目(ひとめ)に余・る
ようすや行いが目立ちすぎて、他人を不快な気持ちにさせる。「―・る振る舞い」

人目(ひとめ)を避(さ)・ける
他人に見られないようにする。「―・けて行動する」

人目(ひとめ)を盗・む
他人に見られないように、こっそりと行う。「―・んで耳うちする」

人目(ひとめ)を憚(はばか)・る
他人に見られるのを恐れる。世間に知られないように心を配る。「―・らずに泣く」

人(ひと)もあろうに
《よりによって、わざわざ不適当な人を選んでしまったという意》
ほかに適当な人もいるだろうに。

ひとり‐い【独り居】
ただひとりでいること。ひとりだけで暮らすこと。「―の楽しみ」

ひとり‐ぎめ【独り決め】
［名］(スル)
① 他の人の考えや都合を聞かずに、自分だけで決めてしまうこと。「方針を―する」
② 自分ひとりで勝手に思い込むこと。「息子が店を継ぐものと―している」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひとり‐わらい【独り笑い】
［名］（スル）
相手がいないのに、思い出したり想像したりしてひとりで笑うこと。「驚いた顔が目に浮かんで―する」

ひと‐わらわせ【人笑わせ】
［名・形動］
人を笑わせること。また、そのさまや、そのような愚かしい言動。「―な言いぐさ」

人(ひと)を食・う
人を人とも思わない、ずうずうしい態度や言動をする。「何とも―・った話だ」

人(ひと)を人とも思わ◦ない
他人を一人前の人間として扱わない。「―◦ない思い上がった態度」

ひなた‐くさ・い【日向臭い】
［形］［文］ひなたくさ・し［ク］
日光にさらされたものに特有のにおいがしている。「―・い干し物」

ひな・びる【鄙びる】
［動バ上一］［文］ひな・ぶ［バ上二］
いかにも田舎という感じがする。いなかめく。「山あいの―・びた温泉場」

ひ‐ならず【日ならず】
［副］
いく日もたたないうちに。近いうちに。まもなく。「―完成をみるだろう」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひならず - して【日ならずして】
［連語］
いく日もたたずに。近いうちに。「結成後―解散する」

ひにち - ぐすり【日日薬】
月日の経過が薬代わりとなること。「骨折には―が一番だ」「―で失恋から立ち直る」

ひねり - まわ・す【捻り回す】
［動サ五｜（四）］
① 指先でいろいろにひねってみる。あれこれいじりまわす。ひねくりまわす。「知恵の輪を―・す」
② 趣向をこらそうと、あれこれ工夫する。ひねくりまわす。「手紙の文章を―・す」

火（ひ）の消えたよう
活気を失って寂しくなるさま。「子供たちがいないので家の中は―だ」

火（ひ）の付（つ）いたよう
① あわただしいさま。性急なさま。「―な騒ぎ」
② 大声で泣き叫ぶさま。「赤ん坊が―に泣き出す」

日（ひ）の出（で）の勢い
朝日が昇るように盛んな勢い。旭日（きょくじつ）昇天の勢い。「業績好調で―の会社」

ひひょう - がん【批評眼】
批評をする眼識。要所を的確にとらえて批評する能力。「―を養う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

暇(ひま)が明・く
時間ができる。暇になる。「この仕事が終われば―・く」

暇(ひま)に飽か・す
ひまがあるのをよいことに、多くの時間を費やす。「―・して気のすむまで調べる」

暇(ひま)を盗・む
忙しい中でわずかな時間を利用する。「―・んで資格取得の勉強をする」

ひめ - やか【秘めやか】
［形動］［文］［ナリ］
内におさえて人目に立たないようにするさま。「―な恋心」

ひゃく - しゅつ【百出】
［名］(スル)
種々のものが次々に多数現れ出ること。「難問が―する」「議論―」

ひゃく - せい【百世】 の意味
多くの年代。長い年月。百代。「名を―に残す」

ひゃく - せん【百千】
数の多いこと。たくさん。「―の難関に出あう」

ひゃくせつ - ふとう【百折不撓】
何回失敗しても志をまげないこと。「―の精神」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひゃく - たい【百態】
いろいろな姿。種々のありさま。「サラリーマン―」

ひゃく - だい【百代】
きわめて長い年代。永遠。はくたい。「名を―に残す」

百歩(ひゃっぽ)譲(ゆず)・る
自説を引っ込め、相手の主張を大幅に認める。最大限に譲歩する。「―・ってもその条件だけはのめない」

ひゃくまん - べん【百万遍】
百万回。また、数限りなく繰り返すこと。「―頼まれても承服できない」

ひゃく - らい【百雷】
数多くのかみなり。非常に大きな音や声にたとえる。「―の一時に落ちたような地響き」

ひゃっ - けい【百計】
いろいろなはかりごと。あらゆる方法。「―ここに尽きる」

冷(ひ)や水(みず)を浴(あ)び・せる
意気込んでいる人に、まるで冷水をかけるように、元気を失わせるような言動をする。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひょう‐けつ【表決】
［名］（スル）
議案に対して賛否の意思を表示すること。「挙手によって―する」

拍子（ひょうし）を取・る
音楽・歌舞などの調子に合わせて、掛け声をかけたり手を打ったりする。
「からだで―・りながら歌う」

ひょう‐じ【標示】
［名］（スル）
目印になるもので人にあらわし示すこと。また、その目印の文字・記号・絵など。「危険区域を―する」

ひょう‐せつ【剽窃】
［名］（スル）
他人の作品や論文を盗んで、自分のものとして発表すること。「他人の論文を―する」

ひょう‐ぜん【飄然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 世事を気にせずのんきなさま。飄乎（ひょうこ）。「―とした暮らし」
② ふらりとやって来たり去ったりするさま。飄乎。「―と去る」

ひょうばん‐だおれ【評判倒れ】
評判の高い割に、実質の伴わないこと。評判ほどではないこと。「―の三つ星レストラン」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ひょう‐ぼう【標榜】
［名］（スル）
① 善行をほめたたえ、その事実を記した札を立てて世に示すこと。また、その札。
② 主義・主張などをはっきりと掲げ示すこと。「自由と民主主義を―する政党」

ひら‐あやまり【平謝り】
ひたすら謝ること。「―に謝る」

平蜘蛛（ひらぐも）のよう
はいつくばうさま。平身低頭するさま。「―になって謝（あやま）る」

ひら‐づみ【平積み】
［名］（スル）
書店で、本や雑誌の表紙を上にして、台に積み上げて陳列する売り方。

ひる‐あんどん【昼行灯】
《日中に行灯をともしても、うすぼんやりとしているところから》
ぼんやりした人、役に立たない人をあざけっていう語。

昼（ひる）を欺（あざむ）・く
夜なのに明るくて、昼間かと間違えるほどである。「照明灯で広場は―・く明るさだ」

ひ‐れき【披瀝】
［名］（スル）
心の中を包み隠さずに打ち明けること。「本心を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

非(ひ)を打・つ
悪いところを指摘する。非難する。「―・つ人もない名作」

非(ひ)を鳴ら・す
盛んに非難する。「政府の無策に国民が―・す」

ひん - きゅう【貧窮】
［名］(スル)
貧しくて生活に苦しむこと。「職を失って―する」

ひん - せん【貧賤】
［名・形動］
貧しくて身分が低いこと。また、そのさま。「―な（の）身」⇔富貴。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.